

平成30年度卒業時満足度調査 カリキュラム編成・運用・DPについて

調査日：平成31年3月7日

卒業生数 109名 / アンケート回収数 107枚 / 回収率 98.2%

令和元年 6月5日
カリキュラム小委員会

《カリキュラム編成について》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 授業科目には本学の建学の精神、教育理念、教育目的・目標が反映されていた	39.3%	44.9%	8.4%	0.9%	6.5%	0.0%
2 授業科目は理解しやすい（学びやすい）順序であった	36.4%	43.9%	14.0%	2.8%	2.8%	0.0%
3 カリキュラムはそれぞれの科目の特性が活かされた編成であった	43.0%	42.1%	9.3%	1.9%	3.7%	0.0%
4 選択科目は思い通りに選んで履修する事ができた	55.1%	29.9%	7.5%	5.6%	1.9%	0.0%
《カリキュラムの運用について》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 教室（講義室）の広さは適切であった	38.3%	38.3%	15.9%	5.6%	1.9%	0.0%
2 受講するクラスの人数は適切であった	41.1%	44.9%	12.1%	1.9%	0.0%	0.0%
3 教室の環境（冷暖房、机、いす、視聴覚機器等）は適切であった	41.1%	44.9%	12.1%	1.9%	0.0%	0.0%
4 試験期間の設定・時期は適切であった	33.6%	38.3%	19.6%	7.5%	0.9%	0.0%
5 1日に実施する試験科目数は適切であった	32.7%	39.3%	17.8%	8.4%	1.9%	0.0%
6 科目選択時にはシラバスの内容を確認して活用した	45.8%	35.5%	12.1%	4.7%	1.9%	0.0%
7 学生による授業評価は、自分なりに講義について振り返るなどして正確に行っていた	34.6%	43.0%	15.9%	4.7%	1.9%	0.0%
8 授業内容についての質問などで教員のオフィスアワーを活用した	23.4%	30.8%	27.1%	13.1%	5.6%	0.0%
《DPについて》	そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという とそう思わない	まったくそ う思わない	わからない	回答なし
1 多様な価値観や文化的背景を持つ人々と向き合う力を養うための幅広い教養を身につけることができた	39.3%	37.4%	10.3%	0.9%	3.7%	8.4%
2 看護に必要な専門的知識を身につけることができた	43.0%	38.3%	6.5%	2.8%	0.9%	8.4%
3 看護実践に求められるマネジメント能力の必要性を理解できた	47.7%	33.6%	6.5%	1.9%	1.9%	8.4%
4 人間を統合的に捉え、人々の健康と生活の質を高める看護を實踐できる基礎的能力を身につけることができた	44.9%	36.4%	5.6%	1.9%	2.8%	8.4%
5 保健・医療・福祉関連分野の動向に関心を寄せ、看護のあり方を理解できた	52.3%	29.9%	4.7%	0.9%	3.7%	8.4%
6 専門職として生涯にわたり主体的に学び続ける姿勢を身につけることができた	45.8%	37.4%	4.7%	0.9%	2.8%	8.4%
7 赤十字の基本原則を理解し、人間の尊厳と権利を尊重し擁護する姿勢を身につけることができた	41.1%	41.1%	6.5%	0.9%	1.9%	8.4%
8 地域の人々の保健医療課題を積極的・自発的に解決しようとする能力を身につけることができた	39.3%	41.1%	7.5%	1.9%	1.9%	8.4%
9 看護者として、責任ある行動がとれる能力を身につけることができた	44.9%	39.3%	5.6%	0.9%	0.9%	8.4%
10 対象に必要な看護ケアを科学的根拠に基づき安全に実施するための技術を身につけることができた	45.8%	36.4%	7.5%	0.9%	0.9%	8.4%
11 地域住民、患者、家族、保健・医療・福祉に関わる人々と連携・協働するために必要な、相手の立場を尊重したコミュニケーション能力を身につけることができた	46.7%	37.4%	5.6%	0.9%	0.9%	8.4%

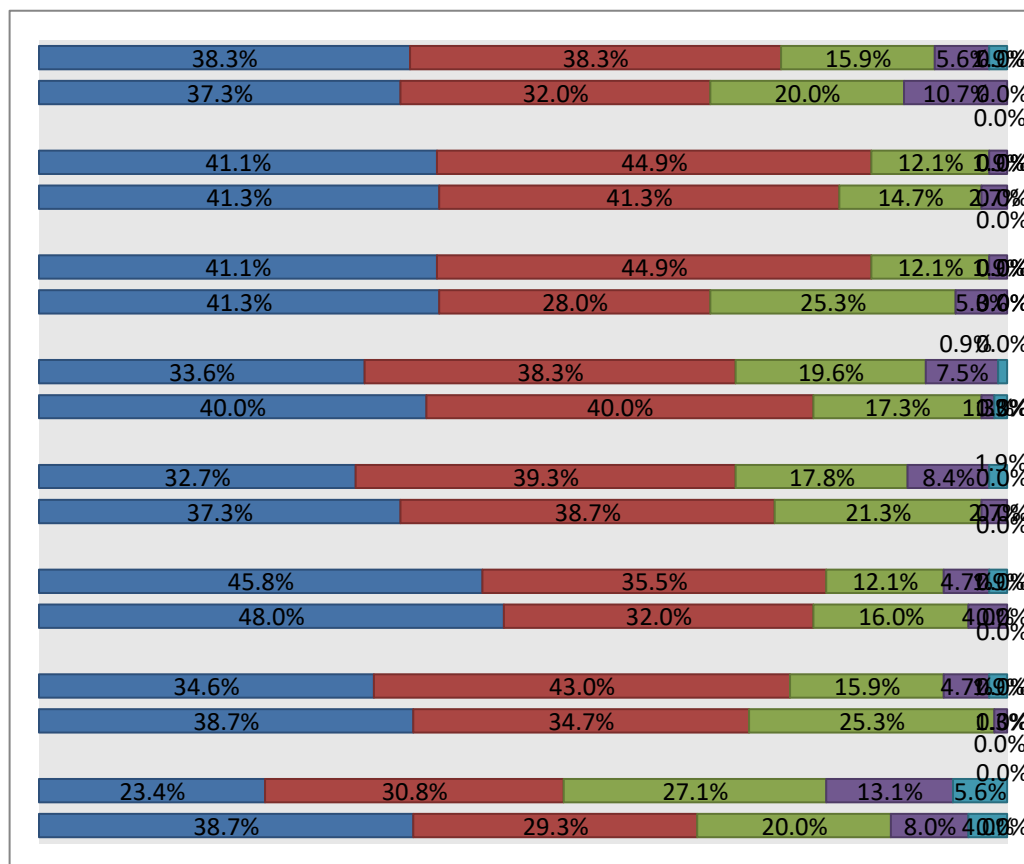
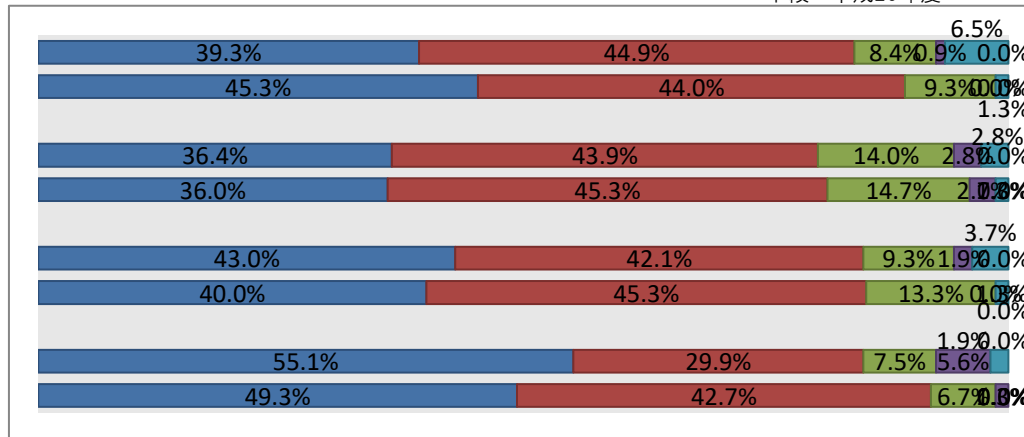
《カリキュラム編成について》

- 1 授業科目には本学の建学の精神、教育理念、教育目的・目標が反映されていた
- 2 授業科目は理解しやすい（学びやすい）順序であった
- 3 カリキュラムはそれぞれの科目の特性が活かされた編成であった
- 4 選択科目は思い通りに選んで履修する事ができた

《カリキュラムの運用について》

- 1 教室（講義室）の広さは適切であった
- 2 受講するクラスの人数は適切であった
- 3 教室の環境（冷暖房、机、いす、視聴覚機器等）は適切であった
- 4 試験期間の設定・時期は適切であった
- 5 1日に実施する試験科目数は適切であった
- 6 科目選択時にはシラバスの内容を確認して活用した
- 7 学生による授業評価は、自分なりに講義について振り返るなどして正確に行っていた
- 8 授業内容についての質問などで教員のオフィスアワーを活用した

上段…平成30年度
下段…平成29年度

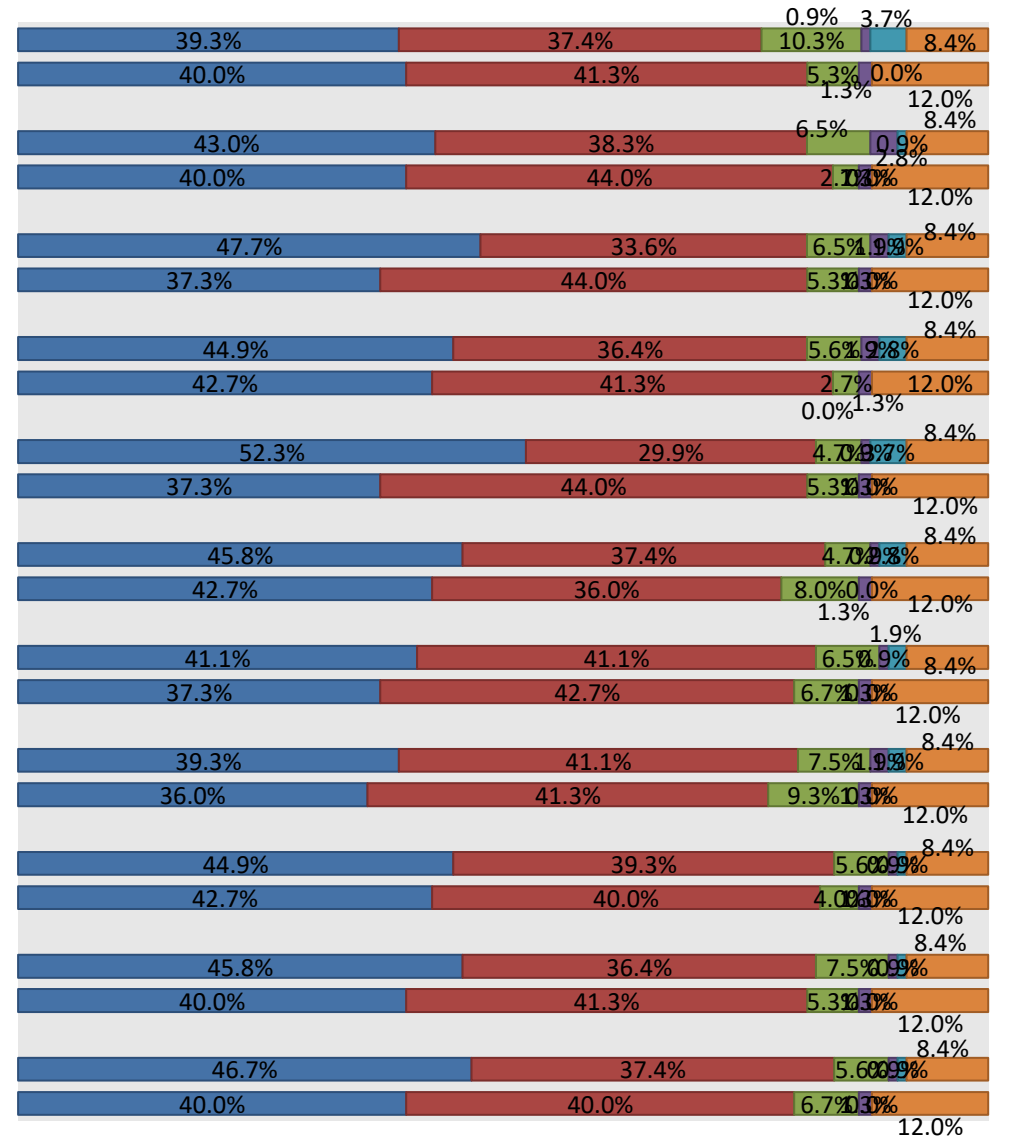


■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ まったくそう思わない ■ わからない ■ 未回答

《DPについて》

- 1 多様な価値観や文化的背景を持つ人々と向き合う力を養うための幅広い教養を身につけることができた
- 2 看護に必要な専門的知識を身につけることができた
- 3 看護実践に求められるマネジメント能力の必要性を理解できた
- 4 人間を統合的に捉え、人々の健康と生活の質を高める看護を実践できる基礎的能力を身につけることができた
- 5 保健・医療・福祉関連分野の動向に関心を寄せ、看護のあり方を理解できた
- 6 専門職として生涯にわたり主体的に学び続ける姿勢を身につけることができた
- 7 赤十字の基本原則を理解し、人間の尊厳と権利を尊重し擁護する姿勢を身につけることができた
- 8 地域の人々の保健医療課題を積極的・自発的に解決しようとする能力を身につけることができた
- 9 看護者として、責任ある行動がとれる能力を身につけることができた
- 10 対象に必要な看護ケアを科学的根拠に基づき安全に実施するための技術を身につけることができた
- 11 地域住民、患者、家族、保健・医療・福祉に関わる人々と連携・協働するために必要な、相手の立場を尊重したコミュニケーション能力を身につけることができた

上段…平成30年度
下段…平成29年度



■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ まったくそう思わない ■ わからない ■ 未回答

記述1(カリキュラム運用・編成について)

- 1 統合実習の時期について、もっと早いほうがよい。
- 2 1年生後期と2年生前期の試験期間に集中しすぎていたので、もう少し期間を長くとったほうがよい。
- 3 せっかく買った教科書を活用することなく終わった講義があったので残念だった。
- 4 もっと国試を意識したカリキュラムにしたほうが国試合格率が上がると思う。
- 5 あまり、試験を受けるうえでためにならなかった。
- 6 301が狭い。
- 7 1年生は、基礎の授業が多く、学びにはなるが、国試の勉強を始める時には忘れてしまっていた。
- 8 1年次から、もう少し順序立ててカリキュラム編成をしてくださると、知識と知識がつながりやすく、理解度が上がると思う。
- 9 教室狭い。
- 10 授業変更のお知らせをメールで伝えてほしい。
- 11 一度も使用しない教科書を買わせないでほしい。